

11C-10

Q 地球研 P-カゴブツをどう有効活用
するかと
大卒には何の機内リポジリー

・地球研の成果 → とらより [ポセ?]
×9 データ

・フルドムに行き取ったデータ
活用しきれていない

聞も取り
リソース

・本・報告書

・(大会) プロダクトの表し方
T1111

・地図は使われていない
どう研究に活用するかと
・研究のプロセスには使われていない

文化と自然

→ データを残す

(期待感)

- 専門家だけでは見えない
- 多様な
← 視点の提供

アイデア

教育 授業のデータを使って
⇒ 教材をつくる

ex) EU FOSTER

博士課程 オープンソースを以て
研究

→ 地球研版

見たこともないデータを使って
自分の研究に活かす

・人の流動が激しい

②
③
所内全員で「アカイブズ」を見て
相降ろし、使い倒す

「アカイブズ」
・ネーミング - 過去のものを置く

⇒ 発展的に消化していくものに

・フィールドデータ

・研究利用申請 ⇒ 生データ貸す

⇒ 地球研がデータ化されていながら
ものをかえる

・地球研以外のデータと組み合わせる

2. 前のスライドにいた人が
いま

公開されたら、今アライブに
入るかわる人のアイデア

・ システム・サイエンスの
プラットフォームをつくる

⇒ エンビエレン投稿しなくても
評価を得られる

€ Publish しないようなワーク

アライブ
⇒ 誰が評価？

2. 1. 1. 1.

ポスト

100年経て死すものは死す/
5年 π

死すことで評価とする

捨てるものを採す



好きな人が死す

ニコニコ動画

ボクシングが大好き

パンク

⇒ 前やったことが 新しい成果として
出る

⇒ 埋めれる

捨てることで、同じところに戻る

分野を変えて新しい成果にする

⇒ 露出を増やすことによるオープンカレッジの意義

オープン = 機械が読める

・ 人間が扱えない量

⇒ AI コンシユルツ的なAI

新しいサケンスを生成する!

AIコンシユルツが

・ 最後は研究者が判断

地球研データベースの
活用

・ 難しいデータをいかに分析できるか

日意味処理の技術

研究公正 不正が減る?

データが多ければ

- ・異常値が引き出しやすくなる
- ・裁判データの評価



- ・雑なデータがたかきとかがりことによる質の低下

⇒ より良い成果を出す視座

┌ いろいろなデータを出すと
損を可成り化組む ⇒ 人の役割

- ・研究者ごとの信頼度出せる

⇒ 長い目でコスト ↓

2
1
1
②

・ 気づき が 得られる

・ AI コンサルティング パートナ-

・ 不正を減らすことより

研究成果を正しく評価する

＜ 研究の信頼度の可視化 ＞

コスタ Rica

地球研アーカイブズでできたこと

・ 年度初めにア、ディ、ア、ソ、ン

市販に開く!

・ 市販レビューの重要性